

# 創造

JA いけだ  
CREATION



今月の表紙は、千代田大橋から撮影した日の出の写真です。

## CONTENTS

- \* 令和4年の新春を迎え
- \* 令和4年の年頭にあたり
- \* 21NEWS アラカルト
- \* 新入職員紹介
- \* 畜産部通信
- \* 日本の行事食カレンダー
- \* ベジタブルライフ
- \* 石田邦雄の農業拾い読み
- \* 月間行事予定
- \* 理事会の動き
- \* 今月の1枚
- \* 編集後記

2022.

JANUARY

No.145



# 令和4年の新春を迎え

十勝池田町農業協同組合

代表理事組合長

鈴木雅博

令和4年の新年を迎え、組合員の皆様はじめご家族の皆様にご挨拶申し上げます。皆様におかれましては、日々の営農と併せ、日頃より地域の行事にも取り組まれ活動されております事にも、重ねて敬意を申し上げます所でありませう。

昨年の3月1日、両農協が合併して池田町農業がひとつとなり、農協事業に取り組む初年度となりました。個々の農協機構や、行われていた業務の差異への対応など組合員皆様には、特段のご理解とご協力を戴きました事に深く御礼を申し上げます。

同時に職員にも、営農戸数が増え組合員対応、仕事の手順や、打合せ等、戸惑い苦労をかけた年でありました。

平成26年に、「合併検討委員会」を設立し地域農業の現状と課題を抽出し「池田町農業の、将来のあるべき姿」を描く作業をすすめ、そして平

成27年「合併検討委員会」から「合併推進委員会」へ移行する承認をいただき、相互理解と共感「心の合併」を慎重にすすめて参りました。

農協の歴史は、75年前の昭和22年に農業協同組合法が制定され、昭和23年には全国で1万3千の農協が設立されました。（現在は全国560農協）

池田町においても農民の希望を結集し農業協同組合が設立されました。しかし、系統組織力の弱さと厳しい時代背景のなか、財政的苦境に陥り、昭和25年度の決算期をもつて3農協が併存する状況となり、それぞれ単独農協としての道を歩む事となりました。

しかし今、日本は世界の中で最も少子高齢化率が高く、かつて私達が経験した事が無い人口減少社会の国へと向かっております。若い労働力、担い手不足がすすみ、それは、農村に於いては顕著に表われ

ております。さらに経済は、地球の裏側の出来事にすぐさま影響を受けるグローバル社会、そして弱肉強食の新自由主義思想が蔓延る環境であります。

それに対峙出来るのが私達の「相互扶助精神を礎とした強固な協同組合」と云われております。

「開拓の魂を今もついに。」

私たちは、先人の意思を未来へとつなぎます。

新たな十勝池田町農協（J A十勝池田町）として発足した記念すべき3月1日の新聞広告であります。

明治29年池田町に本格的な開拓の鋤が入り125年が過ぎた年でありました。

私達は、先人達の筆舌に尽くしがたい苦難と苦闘の歴史を忘れず、開拓魂と血と汗の努力で開かれた郷土を次世代へと託し、先人先達の方々のご労苦に永続的な発展をもって感謝申し上げたいと思いま

す。

昨年の令和3年を振り返りますと、新型コロナウイルスの脅威が連日報道されるなか、正月でも雪が無く、1月7日〜8日に初積雪となる年明けでありました。3月下旬には小麦の滞水が心配されましたが、事なきを得て最小限の被害に止まりました。作物の生育時期には雨不足と猛暑が続き、小麦刈り取り前の7月18日には、37度を超える猛暑もあり、農作物、家畜への影響が心配される夏でもありません。

耕種部門では、小麦が全量1等Aランクとなり、質量的にも十勝管内上位であります。小麦、甜菜での収量増、馬鈴薯、玉ねぎは高騰、豆作物では安定値となる収穫年でありました。

畜産部門では、心配された猛暑の影響を抑え素牛・肥育牛とも引き続き高値で推移しており、酪農部門では出荷乳量も回復し安定した処であります。

令和3年の推定農業粗生産額は、耕種部門、畜産部門、農業共済、水田活用を合計すると事業計画を大きく上回る103億5千万円と見込まれます。令和2年比110%超

の試算であります。

早魃と猛暑の異常気象、そして新型コロナウイルスが猛威を振るい、自身や家族に迫る時期、細心の注意をしながら営農をされた、組合員各位の経営努力と高い技術に改めて敬意を表する処であります。

農業経営においては、急激な生産環境の変化を受ける時代であり、生乳の余剰問題や、大切な生産資材として必需の肥料不足の確保をはじめ、その変化に迅速な対応を求められるのが農協組織であります。

本年も役職員一丸となり、池田町開拓に入植された先人の思いと苦労を忘れることなく、新たな時代に向けて組合員経済・地域農業の発展に向け取り組んで参ります。

組合員の皆様には、「コロナ禍」ではありますが、農協広報誌、随時お知らせする営農情報、さらには地域懇談会を通じて情報の共有を進めてまいります。皆様には農協事業への積極的参加とご指導・ご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様には安心して暮らせる穏やかな年であり、稔り多い年でありませう事をこ祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



# 令和4年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 小野寺 俊幸

新年あけましておめでと  
うございます。

組合員並びに役職員の皆  
様には、コロナ禍にあつて  
もその苦境にも負けず、日々  
営農に更に邁進されておら  
れることと存じます。

また、地域農業の振興や  
地域社会の発展に向け、日  
頃より多大なご尽力をされ  
ていることに対しても、改  
めて敬意と感謝を申し上げ  
る次第であります。

昨年の本道農業につきま  
しては、春先は天候に恵ま  
れ順調に推移したものの、  
7月～8月にかけての長期  
間の猛暑や少雨による干ば  
つ、また、9月に発生した  
雪や大雨により、一部の地

域や作物によっては、生育  
が大変、心配されたものの、  
おおむね平年作を確保する  
ことができました。

しかしながら、一昨年か  
ら引き続き、新型コロナウイルス  
イルスとの戦いが長期化し、  
今までの日常とは大きく変  
化した1年でありました。  
農業分野においても例外で  
はなく各種イベントの自粛、  
外食の需要減少等の影響に  
より、各作物の消費に大き  
な影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を  
踏まえた、国産・道産農畜  
産物の需要喚起・消費拡大  
を図るとともに、外国人技  
能実習生が入国にも影響が  
あり、農作業の人材確保に

も大きな課題となっており  
ますので、北海道、全国連  
とも連携し、JAグループ  
北海道としてしっかりとそ  
の対応を図ってまいります。

昨年は第30回のJA北海  
道大会を開催し、「北海道  
550万人と共に創る『力  
強い農業』と『豊かな魅力  
ある地域社会』の達成」と  
いう将来ビジョンが決議さ  
れました。

コロナ禍やデジタル化へ  
の対応、SDGsへの貢献、  
信用・共済事業をはじめと  
したJA経営を取り巻く事  
業環境への対応など、北海  
道農業、JAグループ北海  
道を取り巻く環境が急激に  
変化しており、このような

環境に適応していくには、  
改めて、協同組合運動の  
原点である「対話」を通じ  
て、実践方策を設定し、実  
践と改善をくり返すことで、  
変化の波をJA運営に取り  
込んでいくことが必要であ  
り、組合員・役職員が一丸  
となつてしっかりと取り組  
んでいくことが重要となり  
ます。

結びになりますが、本年  
は壬寅年です。十干の「壬」  
は陽気を下に宿するという意  
味を持つており、生命の誕  
生を宿す意味を表します。  
一方、十二支の「寅」にも  
壬と同様で、草花が伸びよ  
うとする状態を表していま  
す。この謂われにあやかり、  
本年が豊穰の年となること、  
新型コロナウイルスの1日  
も早い終息と皆様のご健勝  
をご祈念申し上げ、年頭の  
ご挨拶といたします。



## 農産部

## もち米生産組合より鏡もち贈呈！

合併後、初となる年始を控えた令和3年12月末、もち米生産組合の堀井浩明組合長が本所を訪れ、令和4年が輝かしい一年となるよう、また、五穀豊穡を祈願し、町内産の「きたゆきもち」を使用した特製鏡もちを鈴木組合長へ贈呈いたしました。

本年は、5kgのもち米を用いて、本所用の特大鏡もちに加え、各事業支所用の鏡もち9重ねも用意させていただきました。

もち米生産組合は、今後も良質なもち米の生産を続けられるよう、日々精進してまいります。



(記事・農産部農産課 多田賢一)



あか牛部会 生産者  
(左から) 神谷雅之部会長、小原秀樹さん、長島正典さん



ステーキ肉は開始30分で完売しました



## 畜産部

池田町和牛生産改良組合  
あか牛部会  
「いけだ牛即売会」

12月15日、標記即売会をセコマ池田店にて開催しました。今回は小原秀樹さん（千代田）生産の去勢牛1頭分をステーキ用やすき焼き用でご用意し、2年ぶりの冬季開催に喜ぶお客様の姿を拝見することができました。

今後も地域の皆様に池田町産のお肉をお届けする機会を増やせるよう、畜産部一同取り組んでまいります。

(記事・畜産部畜産課 小野寺絵里)



## 畜産部

第20回 北海道  
あか牛枝肉共励会

11月18日に北海道あか牛枝肉共励会が(株)北海道畜産公社早来工場において開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止と、来場者の健康と安全を最優先に考慮し、審査員、出品者、事務局以外は参集しない形での開催となりました。

当農協から9頭、新はこだて農協から8頭、神内ファームから1頭の合計18頭の出品で、厳正な審査の結果、JA新はこだての(株)東出農場さん出品の枝肉(A5等級BMS8:枝肉重量592kg)が見事最優秀賞に選ばれました。

また、当農協からは小原秀樹さん出品の枝肉が、優秀賞1席(A4等級BMS7:枝肉重量518kg)と全体で2番手に選ばれました。更に、優良賞には神谷雅之さんと朝川知輝さん出品の枝肉がそれぞれ選ばれるなど素晴らしい成績となりました。

枝肉重量の平均が517.8kgと昨年の513.1kgより4.7kg向上し、あか牛らしいボリュームのある枝肉が多く、毎年枝肉のレベルが確実に上がっていると感じられる共励会となりました。

本来であれば、良きライバルである新はこだて農協の出品者の皆様との交流や、情報交換を行うところでしたが、昨年同様に前夜祭は開催せず、当日の枝肉展示と表彰式のみでの開催となりました。それでも短い時間ながら、約2年ぶりのJA新はこだての皆さんとの再会に、会話が花が咲き、和気藹々とした中での開催となりました。

(記事・畜産部長 長井 勉)



参加者集合写真

## 中央会帯広支所 久保主査



## 管理部

不祥事未然防止に向けて  
～コンプライアンス研修会を開催～

11月24日(水)、中央会帯広支所 久保主査を講師にお招きし、全職員を対象にコンプライアンス研修会を開催致しました。研修会では「不祥事発生メカニズムと不祥事未然防止に向けた取り組みについて」、「個人情報取扱いの厳守について」をテーマに講習を行いました。不祥事は【実行可能性】【正当化】【動機】【機会】の4つのリスクが揃ったときに発生するとのこと、それぞれのリスクへの対応策を学びました。また、「コンプライアンス違反、不祥事は当事者だけの責任だけではなく、起こす環境を認めた周りにも責任がある」とのことから、農協全体として、より一層リスク低減に努めていく必要があると感じました。

最後に管理課高職員より情報セキュリティ自主点検の結果報告、実施率が低かった項目の対応策を説明。「ウイルスソフトだけでは防げないリスクもありますので、職員一人一人のセキュリティ意識を高めて被害防止に繋げましょう。」と、個人のセキュリティ意識の向上をお願いし、閉会しました。

(記事・管理部融資審査課 課長 杉山淳史)

講習の様子



## 女性部

## 女性部防災 セミナーについて

12月2日に、女性部講習会を開催しました。

近年、地震や豪雨災害など、避難をしなければ命の危険がある大災害が多数発生

しています。災害に対してふだんから備えることや、避難生活について理解を深め、もしもに備えるため防災備蓄セミナーを行いました。

講師には、レミューライフ代表の徳本里栄さまをお招きし、災害に備える「5つの満タン」と称し防災備蓄に必要な備蓄品等を2011年3月11日の東日本大震災の経験をもとにご説明いただきました。震災時にはライフラインが止まり暗闇の中で物が、どこにあるか分かる状態が必要とご教授いただき、日常生活から整理収納が防災の基本になると便利なグッズを持参いただき主婦目線での収納術方法ご紹介いただきました。参加された女性部部員の皆様も実際に防災グッズと収納方法を手に取りながら、「いつ起こるか分からない災害に対して備えた方が良い物は何か」等の質問を交えて熱心に聴いておりました。

(記事・営農部営農企画課 松村 暁)



講習会後に撮影した集合写真

## 新入職員紹介



つかもと みき ひろ  
塚本 樹 広

出身地：音更町

出身校：帯広南商業高等学校

配属先：信用部 池田支所 貯金共済課

自分はこんな人です！：見かけによらず人なつつこい

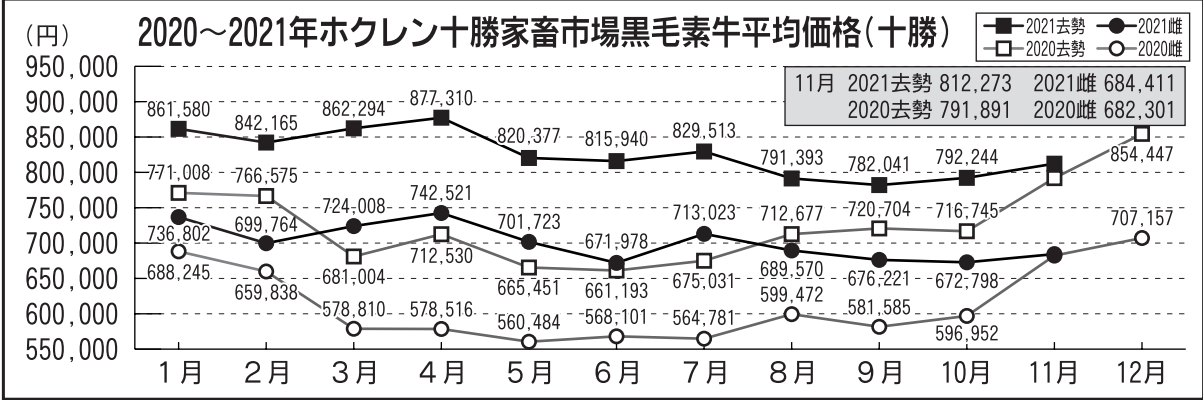
趣味：うまいものを食べること

特技：酒を飲むこと

皆様へ一言（抱負）：この度、ご縁がありお世話になることになりました。10年ぶりの農協職員復帰となりますが、現在までの社会経験とささやかな知識をもって、農協のためにまた組合員さんと楽しく仕事をしたいと思っております。職員の皆さんには、歳が上にはなりますが、1年生をよろしくお願い致します。

# 畜産部通信

畜産部  
畜産課

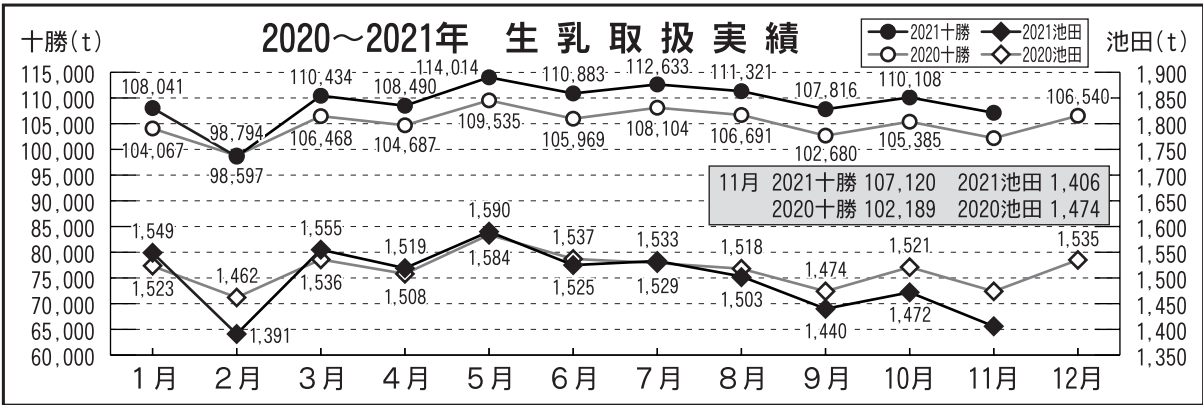


### 11月黒毛素牛出荷区分別成績

		取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比
去勢	十勝	819	812,273	20,029
	池田	37	801,157	28,093
雌	十勝	666	684,411	11,613
	池田	45	656,480	-42,354

### 11月ホクレン十勝枝肉市場

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
6日 20日	黒毛去勢	A-5	2,425
		A-4	2,207
		A-3	2,005
	黒毛雌	A-5	2,420
		A-4	2,190
		A-3	1,970
F1去勢	B-3	—	
	B-2	1,060	
F1雌	B-3	1,100	
	B-2	—	



### 11月ホクレン十勝乳牛市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	乳牛育成	605	292,536
4日	乳牛初妊	468	605,757
	乳牛経産	65	327,193
25日	乳牛初妊	750	617,825
	乳牛経産	117	338,292

### 11月十勝中央家畜市場

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	101,408	+21,111
F1オス初生	178,826	+5,788
F1メス初生	122,210	+6,144
廃用牛	171,959	-6,517

# 一月

正月・雑煮  
7日・七草がゆ  
15日・小豆がゆ



雑煮は室町時代、京都で生まれたといわれる。今は家内安寧、家業繁盛など人それぞれの願いを年神様に祈り祝う。七草がゆは平安時代、殿上人の叙位の日に当たり、名を成すに掛けて食したそう。15日の小豆がゆは豊作を祈って奈良時代から食している。

# 四月

花見・花見弁当

人はなぜかかすみたる空にはんなりと咲く妖艶な桜の花に酔う。元禄の頃、旦那衆の花見弁当は豪華だった。欠かせないのは桜餅。江戸は小麦粉の焼き桜。上方(京坂)は蒸した道明寺粉。塩漬けの大島桜の葉がかくわしい。



# 二月

節分・いり大豆  
イワシ

大阪では大正時代、イワシと麦飯を食って長寿を祈った。玄関にイワシの頭とヒイラギを飾るのは臭いとげて病魔を追いやるため。イワシの頭も信心から。



# 三月

ひな祭り・まぜずし・貝料理  
春の彼岸・ぼた餅

まぜずしに上置きする錦糸玉子、紅しょうが、絹さやなどの彩りは春の明るさを表現する。貝は家持ちで金に関する漢字が多い。「入るを企(はか)って出るを制せば財を成し、散財すれば貧する」。春の彼岸は花の季節に合わせたぼた餅。



# 五月

こどもの日・ちまき  
かしわ餅

ちまきは弥生時代からある。粽(ち)菅(がや)で角形の筒を作ってもち米を入れた。今はうるち米の粉(うるち米の粉ともち米の粉を混ぜたものもある)を用い、ササの葉で包む。ササの爽やかな香りで保存性を高める。かしわ餅は江戸中期から。西日本にはサンキライの葉を用いる土地もある。



# 六月

茅(も)の輪くぐり・水無月(外郎(うしろ))  
夏至・タコ

雨が多い月なのに水無月とは、これいかに。行事食は少ないが、京都では甘煮の小豆を散らした水無月と呼ぶ菓子を食べ。残り半年の無事を祈るためだ。土地により、夏至にタコを食べ。



私たちの歴史・文化を見直そう

# 日本の行事食 カレンダー



# 七月

七夕(しちせき)・そうめん  
「万葉集」・ウナギ

なぜ、たなばたという。飛鳥・奈良時代、神に供える絹布を織る機をいった。織る女の技術の上達を乞い、素餅(さくべい)・そうめんの祖(そ)を糸に見立ててけん牛、織り女の両星に供えた。ウナギは「夏痩せ」によると言ふものぞ鰻(むなぎ)取り召せ」と「万葉集」にある。



# 八月

孟蘭盆会(うらぼんえ)・精進料理

お盆は先祖の供養だけではなく、夏作物の収穫祭でもあった。精進料理を作って供え、かつ食した。今は作る家は少ない。精進湯でも作って盛夏を乗り切りたい。タンパク質や炭水化物など以外に油脂も大切。油断大敵というではないか。



季節ごとの行事やお祝いの日に食べる特別な料理、「行事食」を通じて私たちの歴史や文化を再確認してみませんか。

監修：奥村彰生料理スタジオ  
イラスト：とよた時

# 十一月

七五三・千歳あめ

日本人は奇数を好む。3歳の女兒、5歳の男児、7歳の女兒の健やかな成長と守護を願って宮参りをする。お土産は千歳あめ。始まりは18世紀初頭。江戸・浅草のあめ売りが千歳あめと文字を入れたあめを長袋に入れたのが始まり。



# 十二月

大みそか・みそかそば

昔、江戸では大みそかは借金の取り立て日。庶民はツケで買い物をした。支払いは盆と大みそか。商人はツケの回収に必死。無事終わら、ヤレヤレと出前のそばを食べ新年を迎えた。「安堵(あんど)して年越しそばを食う夜かな」の川柳あり。

# 九月

重陽の節句・浮き菊の酒  
月見・萩の餅

奈良時代、杯の酒に菊の花弁を浮かべて長寿を祈った。菊なますもうまい。月見にすすきを飾り、月見団子を供え、萩の餅は好物で共に手作りして一家だんらん。そんな心の余裕が欲しい今。



# 十月

秋祭り・小豆入りおこわ(赤飯)

おめでたい日に作るおこわの中で、ふくいくとしたもち米と小豆の香が秀でているのは新物で作る秋祭りの頃。小豆のゆで汁を練れば練るほど赤い色が映えた。添えるごま塩の黒は小豆の色を際立たせる。アワ蒸しもいい。



※行事食の由来には諸説あり、使用する食材も地域により違いがあります。



野菜ソムリエ上級プロ

KAORUの

# ベジタブルライフ

## フキのとう

～香りと苦味が春を告げる山菜～

第16回

イラスト：小林裕美子

### フキのとうのプロフィール

- 【分類】キク科フキ属
- 【原産地】日本
- 【おいしい時期(旬)】12～4月ごろ
- 【主な栄養成分】カリウム、アルカロイド、ケンフェロール、フキノリド、食物繊維、ビタミン類

解説：KAORU

### 選び方

すがすがしい香り  
葉(がく)が開いていて締まっている  
つぼみが固い  
根元の切り口や葉が黒ずんでいない

つぼみが開いて花が開いているのは収穫適期を過ぎているよ

食べごろ  
育ち過ぎていない小ぶりのものがお薦め。花芽がほんの少し見えるくらいに葉(がく)が開いている

### フキのとうのチカラ

アルカロイド<sup>①</sup>  
(苦味成分)  
体内の有害物質を排出、さらに肝機能を強化し新陳代謝を促進

カリウム  
高血圧などの生活習慣病予防、むくみ解消に効果的

ビタミン類  
各種ビタミン、葉酸などをバランス良く含む。代謝促進作用、抗酸化作用に期待

①

②

③  
ビタミンK  
骨や歯の強化に効果的

④  
フキノリド<sup>④</sup>  
(香り成分)  
胃腸の働きを整え、消化を促進する効果に期待

⑤  
食物繊維  
整腸作用を促し、便秘解消や肥満予防に効果

⑥  
ケンフェロール<sup>⑥</sup>  
(苦味成分)  
免疫力を高め、ウイルス感染予防や風邪予防効果に期待

### 保存方法

鮮度が大切

#### 冷蔵保存

鮮度が落ちるとあくが強くなり、苦味やえぐ味も増す



乾燥を防ぐ  
軽く湿らせた新聞紙に包んでポリ袋に入れて保存



下ゆでして水(または塩水)に漬けておくと、あくが強くなりず変色しにくい



#### 冷凍保存

下ゆでしてあく抜きしてから冷凍庫へ

自然解凍であえ物や汁物などに利用



ふきみそ  
長期保存可能

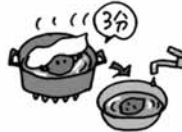
### 楽しみ方・食べ方のコツ



特有の香りと苦味を香辛料として活用  
天ぷらやあえ物に広く利用



パスタ、ピザ、バターソテー、フリッターなどにしてもおいしいよ



⑦  
あく抜き  
塩を加えて沸騰した湯に入れて、ペーパータオルなどで落とし、3分程度ゆでる  
冷水に取り、しばらくさらして冷ましておく

#### ふきみそ

下ゆでしたフキのとう(または水にさらしたもの)をみじん切りにして油で炒め、みそ、日本酒(みりん)、砂糖を加えてとろ火でかき混ぜながら炒め煮に。焦げやすいので注意!



ひき肉を入れるとうま味もアップ!



### フキのとうのビミツ

#### 特徴

日本原産の山菜 全国の山野に自生  
ハウス栽培物 12～4月ごろまで  
天然物 2、3月ごろ



NEWS  
春を告げる風物詩  
北国では雪解けとともに旬を迎える

フキとフキのとうは同じ?!

フキはつぼみと葉柄が別々の時期に地下から出てくる。雪解けの春先(2、3月ごろ)に咲くフキの花蕾(からい)がフキのとう。開花後(4～6月ごろ)に地下茎から出てきた葉柄がフキ

#### 名の由来

冬に黄色い花を咲かせる「冬黄(ふゆき)」→「ふぎ」になった(諸説あり)



漢字  
「冬季花蕾」  
「茹の臺」など





## 互いに合併元年を礎に 足腰を鍛える1年に

(有)石田コンサルティングオフィス

代表取締役

石田邦雄



JA十勝池田町の組合員の皆さん、そして職員や関係者の皆さん、明けましておめでとうございます。この令和4年が、これまでのコロナ禍を克服し、すてきな1年になります。すてきな1年になります。すてきな1年になります。

こうして貴JAの広報誌にページを頂戴し、連載にてコラムをスタートさせたのが2019年の4月でした。まもなく満3年を迎えます。この間のお付き合いに心から感謝申し上げます。と共、本年も何卒よろしくお願いいたします。

からに他なりません。その合併からあと2ヶ月ほどで満1年を迎えます。門外漢の私ではあります。今回の合併が将来に向けて組合員の皆さんにとり、一つの飛躍へのきっかけになることを願ってやみません。どちらにしても合併をした船は既に航行を始めており後戻りは許されません。求められるのは「手にいれたスケールメリットをどう生かし、前を切り拓いていくか」ですね。

00歩前に進むにしても、大きな力を持つ1人が100歩進むよりも、力がそれほどないにしても、互いに手を取り合い、皆がこぞって「100人で1歩を刻む」：そこにこそ協同組合の意義を見出している私がいるからです。「10年ひと昔」といわれるように、私達、農業者を取り巻く環境も近年、大きく様変わりをしてきました。かつてい

われた「農協の傘の元」というのも今は昔。かつて営農をする皆さん方にとっては「農協に結集しなければならなかった」：そうした現実があった。だが、時代の流れは「新自由主義」の美名などのもと、従来からの際(きわ)が次々と崩され、農業者にとつての選択肢も広がってきた。そこには一長一短があるかとは思いますが、こうした時代だからこそ、改めて「協同組合とは？」の原点に立ち返ることが重要で、そうした意味では、以前もこの「創造」の中でも申し上げましたように、改めて「共に集まる意義」を一層強固なものにし、この合併を発展のチャンスにしていくことです。私はよく「機会原価」という話をします。原価というところが、金にまつわり考えられませんが「機会を逸したら」という、「時間軸で考える原価」もあるように思うのです。こうした機会はそうそうある話ではありません。それを最大限に活かしていくことです。

確か、迎えた新年は、昨年からの合併元年を土台に、JA十勝池田町としての礎を固める年であることが求められます。その意味ではパートナーであるJA職員一人ひとりの役割も極めて重要で、もしかすると気持ち的には、これまでのお役所的な「職員」という意識を脱して、民間の「社員」的な感覚が必要とされてくるかもしれません。何故なら、取り巻く環境は「敵がいなかった時代」はもうとつと過去のものとなり、競合先も現れ販売先も多様化するなど、そこで選ばれる必要があるからです。そして協同組合に所属することによる有用性をいかに農業者の皆さんに感じて頂くかが試金石になり、まさにJA職員、一人ひとりの力が試されているともいえるでしょう。

そうした中、私がこの「創造」にてペンを運ぶ姿勢ですが、誌面を通じて、第3者という立場を利用し、ある種つなぎ役、クッション役を担えればと思っています。そのことにより微力ではありますが、十勝農業の発展に多少なりとも寄与できれば光榮です。

そこで年頭でもあり、よく私が年度初めの経営方針発表会やキックオフなどにて贈る哲学者、ジョン・ラボックの言葉を。

他人と自分を比較して  
他人が優れていても

決して恥ではない。

だが、去年の自分よりも  
今年の自分が優れていない  
のは立派な恥だ。

の

互いに本年は、「昨日(昨年)を超える自分」を目指したいものですね。

## 理事会の動き

### 第 11 回 〈令和3年12月23日〉

#### ★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 豆類の集荷状況について
- (4) 共計品の精算について
- (5) 余裕金運用状況報告並びに保有目的区分について
- (6) 11月末基準仮決算について
- (7) 内部監査報告について
- (8) みのり監査法人期中1監査報告について
- (9) 信用事業防犯取扱実施要領の改正について
- (10) 令和3年度中途採用者について
- (11) 理事に対する資金の貸付について
- (12) 池田神社への寄贈について
- (13) 労働災害事故の対応（最終）について
- (14) 活力ある職場づくりに向けた労働環境等に係る自主点検結果の報告について

#### ★ 議 案 ★

- (1) 組合員の出資金持分譲渡について
- (2) 組合員の資格変動並びに出資金持分減口承認願について
- (3) 自治監査報告書について
- (4) 農協部会長設置規程の改正について
- (5) コンプライアンス規程の改正について
- (6) コンプライアンスマニュアルの改正について
- (7) みのり監査法人令和4年度の監査報酬について

#### ★ 協 議 案 ★

- (1) 総会までの行事日程について
- (2) 令和4年度基本方針及び各部重点項目（案）について
- (3) 令和4年度固定資産取得計画（案）について
- (4) 冬期地区懇談会の開催について
- (5) 年末組勘整理の見込みについて

## 月間行事予定

行事予定は変更になる場合がございます

月日(曜日)	行 事 予 定
1/10(月)	● 成人の日
11(火)	臨時監査(予定) ホクレン肉牛市場
12(水)	ホクレン肉牛市場(池田上場日)
13(木)	部会長会議(予定) F1市場
14(金)	F1市場(池田上場日)
20(木)	ホクレン乳牛市場
25(火)	第12回理事会(予定)
31(月)	ホクレン育成市場
2/2(水)	ホクレン乳牛市場
7(月)	ホクレン肉牛市場(池田上場日)
8(火)	ホクレン肉牛市場
9(水)	F1市場(池田上場日)

### 今月の1枚

早朝に  
見つけた霧氷



年末年始いかがお過ごしでしょうか。私は12月下旬に上士幌の道の駅で行われたドローンショーを観てきました。東京オリオンピックの開会式でのドローンパフォーマンスも記憶に新しいですが、今回の上士幌では300機使用され、花火とはまた違った迫力と鮮明さがとても印象深いです。来年も行われるならばまた観に行きたいと思えます。いつか行われる際は皆様も是非観に行ってみてください。

さて、今月の表紙は千代田大橋で撮影した日の出の写真です。何日か試みたのですが、天候に恵まれず中々撮ることができませんでした。初日は天気予報も見ずに行き、日の出の姿すら見られなかったのは今では良い思い出です。

2022年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。  
(柳)

編  
集  
後  
記